

学 校 名	山形市立第八中学校 山形市大字村木沢字河原田 1620 番地の 2 Tel 643-2241 Fax 645-8496	校 長	金澤 和子
		研究主任	神保 秀幸
主 題 研 究	伝わる わたし 広がる いのち (1 年次)		
研 究 の 概 要	1：研究主題設定の理由 伝わる わたし ← 生徒の持つ何らかの情報が他に伝わること 広がる いのち ← 生命の尊重・判断力・表現力・行動力・人権・ 思いやり・よりよく生きる・男女の協力・性の 理解・起業家精神・福祉の心・自己実現・エチ ケット等 近年、子供達を取り巻く社会は大きく変容している。欲しいものは比較的簡単に手に入り、子供をターゲットにした製品があふれている。遊び方も外で集団で遊ぶよりも、家庭で個々に遊ぶ状態が増えている。その中で、社会体験の不足、希薄な友達つきあい、大人も含めた道徳的意識・行動の欠如などからいじめや不登校の問題等が生じてきており、豊かな人間性をはぐくむ活動の重要性が指摘されている。 一方昨年行われた市内中学生へのアンケート結果から、性に関する正しい理解や判断が十分ではないという傾向が見られた。このことから自分や相手を尊重した適切な意志決定や判断ができる、的確な行動ができる力を育てる必要があると考えられる。そして、自他の命を大切に、よりよく生きるための知識・判断・行動ができる力を育む授業が求められる。そのためにも、自分の心や体、人との関わり方、家庭や社会の中での生き方について学び、性教育、人間教育を包含した「いのちの学習」へ取り組むことが今求められている。 本校の生徒の実態は、全体としてとらえると、素直で純朴で心優しく、体を動かし働くのが好きな生徒たちである。教師の話にも比較的素直に耳を傾けて聴くことができる生徒が多い。しかし、人前での発表の力や、良好な友達関係作りや、壊れかけた友達関係の修復の力は今一步のところにある。このような子供達の現状をふまえ、私達は、子供達が将来幸せな人生を歩むため、自分の考えや意見を表現して伝えることができ、相手を思いやり、正しい判断や行動ができる生徒を育てたいと考える。 「いのち」についての学習は、本校の学校教育目標の大切な一つであり、「私が伝わる」ことは、すべての学校教育目標の具現化に寄与する活動である。そこで本校では、「伝わる わたし 広がる いのち」を研究主題とすることにした。 2：研究の目標 研究対象の焦点化 研究主題設定の理由に述べた通り、私達は「広がる いのち」を極めて広く捉えている。そのため、本校では「広がる いのち」の対象を、生徒の実態を踏まえて、主として下のように焦点化して実践することとする。 本校の「広がる いのち」の対象（主なもの） ・ 命の大切さ、かけがえのない命など、生命の尊重に関わる分野 ・ 人権、福祉など人間尊重に関わる分野 ・ 性の理解に関わる分野 ・ 起業家精神の育成に関わる分野 等		

	研究の目標 「わたしが伝わる」場面、「いのちを広げる」場面を授業と諸教育活動全般に渡って企画実践することにより、「自信を持って自己表現ができ、自他の命をかけがえのない大切なものと感じ取れる生徒の育成」を研究の目標とする。 3：研究の仮説 「わたしが伝わる場面」を工夫することにより、発表力や表現力が養われるであろう。 工夫の主な観点 ・発表、発言の機会を数多く。やってみることが次への意欲と自信につながる。 意欲と自信を大きく育てるサイクル図 <pre>graph TD; A[発表, 発言の体験] --> B[級友, 教師, 地域の称賛, 励まし]; B --> C[やって良かったという成就感, この次はこうしたいという意欲]; C --> D[今回できたという小さな自信, 失敗から学んだ工夫しようとする気持ち]; D --> A; E[みんなが受け止めてくれる安心感];</pre> 「広がるいのち」に関わる活動を工夫して実践していくことにより、命を大切にする意識が高まり、自他の命をかけがえのないものと意識して行動できる生徒に育つであろう。 4：研究の内容と方法 <table><tr><td>(1) 必修教科</td><td>各教科の「いのち」に関わる内容を重点事項とし実践</td></tr><tr><td>(2) 選択教科</td><td>発展学習として「いのち」関連資料の活用、表現活動</td></tr><tr><td>(3) 道徳</td><td>4項目より「いのち」関連の小項目を抽出し重点指導</td></tr><tr><td>(4) 学級活動</td><td>「性教育」、「進路指導」を通して「いのち」の学習</td></tr><tr><td>(5) 生徒会活動</td><td>集団生活の向上を通しての「いのち」の学習</td></tr><tr><td>(6) 学校行事</td><td>生徒の文化・体育活動を通して「いのち」の学習</td></tr><tr><td>(7) 総合的な学習</td><td>「いのち」の講話学習 企業家教育を実践 福祉体験活動を実践</td></tr></table>	(1) 必修教科	各教科の「いのち」に関わる内容を重点事項とし実践	(2) 選択教科	発展学習として「いのち」関連資料の活用、表現活動	(3) 道徳	4項目より「いのち」関連の小項目を抽出し重点指導	(4) 学級活動	「性教育」、「進路指導」を通して「いのち」の学習	(5) 生徒会活動	集団生活の向上を通しての「いのち」の学習	(6) 学校行事	生徒の文化・体育活動を通して「いのち」の学習	(7) 総合的な学習	「いのち」の講話学習 企業家教育を実践 福祉体験活動を実践													
(1) 必修教科	各教科の「いのち」に関わる内容を重点事項とし実践																											
(2) 選択教科	発展学習として「いのち」関連資料の活用、表現活動																											
(3) 道徳	4項目より「いのち」関連の小項目を抽出し重点指導																											
(4) 学級活動	「性教育」、「進路指導」を通して「いのち」の学習																											
(5) 生徒会活動	集団生活の向上を通しての「いのち」の学習																											
(6) 学校行事	生徒の文化・体育活動を通して「いのち」の学習																											
(7) 総合的な学習	「いのち」の講話学習 企業家教育を実践 福祉体験活動を実践																											
研究の計画	<table><tr><td>4月</td><td>組織作り</td><td>研究主題・目標・仮説の設定</td></tr><tr><td>5月, 6月</td><td>研修会</td><td></td></tr><tr><td>7月</td><td>校内授業研究会(7日)</td><td>道徳 田中将之教諭</td></tr><tr><td>8月, 9月</td><td>指導計画の検討・作成, 研修会</td><td></td></tr><tr><td>10月</td><td>校内授業研究会(実施日未定)</td><td>学級活動 松田剛教諭</td></tr><tr><td>11月</td><td>事務所訪問</td><td></td></tr><tr><td>12月</td><td>1年次の総括</td><td></td></tr><tr><td>1月</td><td>2年次への課題追究</td><td></td></tr><tr><td>2月, 3月</td><td>2年次プレ公開の協議</td><td></td></tr></table>	4月	組織作り	研究主題・目標・仮説の設定	5月, 6月	研修会		7月	校内授業研究会(7日)	道徳 田中将之教諭	8月, 9月	指導計画の検討・作成, 研修会		10月	校内授業研究会(実施日未定)	学級活動 松田剛教諭	11月	事務所訪問		12月	1年次の総括		1月	2年次への課題追究		2月, 3月	2年次プレ公開の協議	
4月	組織作り	研究主題・目標・仮説の設定																										
5月, 6月	研修会																											
7月	校内授業研究会(7日)	道徳 田中将之教諭																										
8月, 9月	指導計画の検討・作成, 研修会																											
10月	校内授業研究会(実施日未定)	学級活動 松田剛教諭																										
11月	事務所訪問																											
12月	1年次の総括																											
1月	2年次への課題追究																											
2月, 3月	2年次プレ公開の協議																											